

校長室より(18) 1年校外学習・全国総文祭東京大会プレ大会

1年校外学習(11月18日科学未来館、11月19日川崎キングスカイフロント)

新型コロナウイルス拡大が下火になっています。本校では、例年1学期にHR合宿として筑波の研究施設への見学を実施していますが、今年度は11月に移動させていました。さらに、宿泊については、9月に断念して写真にもあるように、科学未来館と川崎キングスカイフロントという新しい研究施設を見学する校外学習に変更して実施することに至りました。6クラスを午前、午後で3クラスずつに分けての実施です。まだまだ、感染症対策には十分に気を付けながらの実施で自由に伸び伸びと見学というわけにはいきませんが、生徒たちの科学技術への興味関心が高まる内容になっていたように感じました。

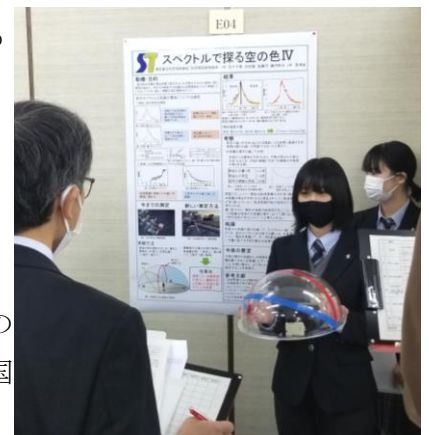
特に19日の川崎キングスカイフロントでは、様々な研修施設を希望を取ってグループ分けして見学できました。どの施設も本来、見学できないような内容が多く勉強になりました。その一つとして写真にもある「実験動物中央研究所」について記載します。

この研究施設には私も同行しました。最初に見学したマーマーモセットは、実験動物として規格化された小型霊長類です。世界で初めて遺伝子改変に成功したということでした。次に、MRIを用いて実験している部屋に入り、マウスの脳の解析画像を見させていただきました。最後に、生殖工学の研究者からゲノム編集について説明を受け、液体窒素で凍らせた卵子への生殖の解析画像を見ることが出来ました。とても得難い貴重な体験でした。川崎市役所やキングスカイフロントの皆様には心より感謝いたします。



全国高等学校総合文化祭自然科学部門東京大会・プレ大会開催

11月23日、東京富士大学の広く立派な会場にて、来年東京で開催される全国高校総合文化祭(インターハイの文化部版)自然科学部門のプレ大会が実施されました。次年度の東京代表を選定する大会でもあり、昨年の3倍以上の50件の発表があり、本校も7グループが参加しました。それだけでなく、この部門の生徒実行委員長を本校2年の兼子さんが務め、開会式の司会や受付、発表会のタイムキーパー、生徒交流会の運営など、大会の生徒実行委員会として様々な役割を本校生徒が担って来ていました。この経験は将来、社会に出て必ず役にたつものと思います。来年8月実施の全国大会に向けて、みんなで盛り上げていきたいと思っています。



(校長 久保 剛)